

## إنستغرام (アラビア語で「インスタグラム」)

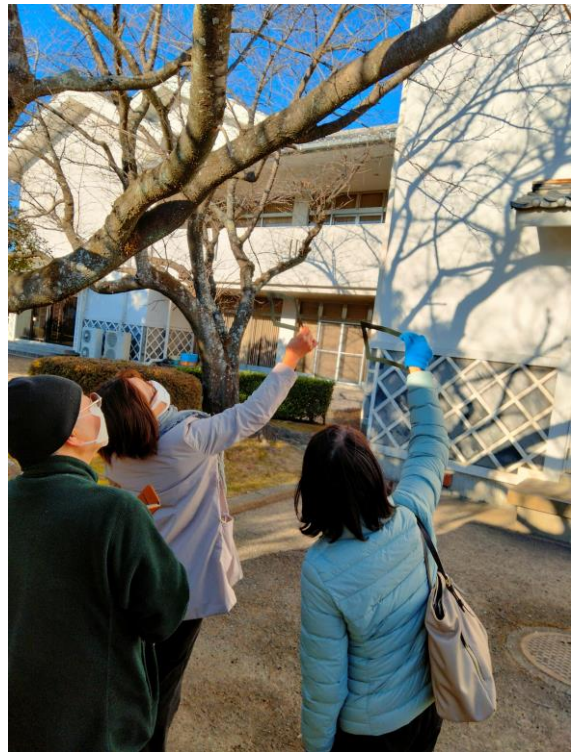
みなさん、こんにちは!

インバウンド観光対応の地域おこし協力隊、田川奈美です。

先月のブログでお伝えした通り、体験を通して本質的なメッセージを伝えることを目的としたガイドの手法「インタープリテーション」について、ボランティアガイドの方々を中心に、有志のみなさんと共に学び合う会をはじめました。

初回に今後やってみたいことを話し合い、今月行なった第2回では、やってみたいこと第一弾として、「インスタ映えスポット」というアクティビティを取り上げることに。まずは、必要となる道具＝厚紙のフォトフレーム作りです。カッターや定規を使いながらの久しぶりの工作に、全員黙々と取り組みました。そして、甘木歴史資料館の敷地内でアクティビティの実践。作成したフォトフレームを使って、インスタ映えするスポットを探します。

最初は口々に「特に何もないねえ」、「場所が悪かったかなあ」と苦戦。しかし、フォトフレームを通してよくよく見回してみると、出てくる出てくる映えスポットが!



江戸時代の道標や資料館の真っ白な壁に映る木々の影、赤い実とピーポートのコラボに木々の間からこぼれる太陽の光、そして、「虫の入館お断り」という面白ステッカー。。。何気ない風景でも、フォトフレームを通して見ることで色々な発見があることに気づかされます。

みなさんもフォトフレームを通して日常の風景を覗いてみてはいかがでしょうか?